

## 豊田加茂地区を世界にアピール

### 清水國明くにあきさん三好町訪問

来年3月25日に開幕する愛知万博では、5月1日を豊田加茂地域の日とし、催しが行われます。この催しのワンディプロデュースとしてタレントの清水國明さんが就任。その調査のため11月17日、三好町を訪問しました。清水さんは「居住環境の良さを地域の内外に、アピールできたら良いと思います」と町の印象を話しました。今回の調査結果を生かし、豊田加茂地区の魅力を生かして万博来場者にアピールする催しを作り上げていきます。



## 世界に一つだけのアクセサリー

### とんぼ玉教室

生涯学習講座の一つとんぼ玉教室が11月18日、明越会館で始まりました。全5回のこの講座講師の長谷川清恵きよえさんから制作方法について説明を受けた後、参加者10人はアクセサリー用のとんぼ玉づくりに挑戦。色付きのガラス棒をガスバーナーで溶かし、巻き取り棒に球状に巻き付ける工程に、真剣な表情で取り組んでいました。三好上の原田佐知子さちこさんは「こつがつかめると、とても楽しくなってきました」と話していました。



## 節目の年を迎えさらなる飛躍を

### 三好高校創立30周年記念式典

昭和50年に開校した三好高校が、今年創立30周年を迎え11月17日、サンアートで記念式典を開催しました。地域に愛される学校として歩み続け、送り出した卒業生は総勢8,324人。後口伊志樹いしき校長は「大きな節目の年に本校に通い集うことを誇りとし、精一杯頑張ってください」と在校生を激励しました。その後行われた創立記念発表会では、生徒がソーラン踊りや太鼓の演奏などを披露し、30周年を互いに祝い、盛り上げました。



## 未来へ羽ばたく豊かな想像力

### 小中学校夢の作品展

町内の全小中学生と友好都市アメリカ・コロンバス市の小中学生が作った工芸・美術作品などを展示する、小中学校夢の作品展が11月20日と21日、サンアートで開催されました。子どもたちに、つくりだす喜びを知ってもらおうと毎年実施しているこの行事。およそ5,700作品が展示され、訪れた人の目を惹きつけました。緑丘小3年生の八木浩平くんは「自分も一生懸命つくったけど、みんな上手だなあ」と感心していました。



## 次の世代に自然を残そう

### みよし里山まもり隊「森づくりと小枝のクラフト」

身近な自然に触れ合いながら森を守り育てようと11月20日、三好丘緑地でみよし里山まもり隊が「森づくりと小枝のクラフト」を行いました。雑木林研究会の眞弓浩二さんから里山を保全する目的や方法について説明を受け、参加者25人は森の中の日当たりを良くするために、枯れた木や密集した木などの除伐を実施。その後、樹木の堆肥になる落ち葉のプールを作ったり、除伐した木の枝でベンチを作ったりして自然に親しみました。



## 世界の食文化に触れて

### 世界の食卓「フランス編」

食文化を通して国際交流の輪を広げようと11月21日、世界の食卓「フランス編」が緑と花のセンターさんの郷で行われました。参加した15人はフランス滞在経験のある柴田エミリーさんの指導で、骨付きチルド・ラム肉のプロヴァンス風など3品のフランスの代表的な家庭料理に挑戦。新屋の三戸雅子さんは「手軽にできておいしいケーキの作り方を教わったので、クリスマスに家で作ろうと思います」と意欲的でした。

